特集

愛媛国体でチームふくいが大躍進
～天皇杯7位・皇后杯8位～

福井しあわせ元気国体
9/29(土)～10/9(火)
福井しあわせ元気大会
10/13(土)～10/15(月)

融合プロモーションビデオの一場面（県民300人ではぴねすダンス）

9月30日から10月10日に開催された「愛顔（えがお）つなぐえひめ国体」。チームふくいの選手団599人が、会期前開催の競技を含めた全37競技で活躍し、天皇杯（男女総合）の順位は7位、皇后杯（女子総合）の順位は8位となりました。天皇杯は昨年度の18位から大きく躍進し、目標の10位以内入賞を達成しました。

競技別では、福井県のお家芸であるボートとホッケーが天皇杯を獲得。さらに、山岳、ビーチバレーボール、ボクシング（女子）、セーリング、カヌーといった、これまで優勝がなかった競技のほか、重量挙げや自転車も優勝を遂げ、優勝14種目、入賞104種目という好成績を収めました。来年は、総合1位の天皇杯獲得を目指します。

10月28日から30日には、同県で全国障害者スポーツ大会が開催され、チームふくいの選手団81人が7競技に出場。陸上競技やフライングディスクなどで金メダルに輝きました。メダルは合計23個（金11、銀6、銅6）と、昨年度の16個を上回り、練習の成果が発揮されました。

選手や監督、関係者の皆さんの努力が実を結んだ両大会。来年の「福井しあわせ元気」国体・障スポへの期待が高まる中、さらなる好成績に向けて準備を進めています。

競技力を向上させる

①有力選手の獲保

有力選手の県内企業などへのU・Iターン就職を支援する制度「**スポジョブふくい**」により、今年度までに180人の選手を獲保しました。来春には、さらに約40人の選手が県内に就職し、チームふくいの一員となります。

また、日本代表クラスの選手を特別強化コーチとして72人獲保。即戦力としてはもちろん、チームの力を高める指導力にも期待がかかっています。

②チーム力の強化

オリンピック選手など国内トップレベルの選手を育成したスーパーアドバイザーらによる指導回数を、昨年の約1・5倍に増やしています。また、遠征の回数を昨年度の2倍以上に増やし、県外の強豪チームとの対戦を多く経験させることにより、接戦を勝ち抜く力を強化しています。

受け入れ体制を万全に

①快適な競技会場づくり

選手の力を最大限に引き出せるよう、競技会場の環境を整えています。9月には、サッカー競技の会場となるテクノポート福井総合公園の整備が完了。来年3月末までに、改修が必要な43施設のうち39施設の完成を目指し、順調に工事を進めています。

開・閉会式の会場となる県営陸上競技場も、走路や観客席などの改修が完了。ここでは9月、福井国体のプレ大会を兼ねて全日本インカレ（日本学生陸上競技対校選手権）が開催され、桐生祥秀（きりゅうよしひで）選手が男子100メートル走・日本人初の9秒台（9秒98）を記録しました。桐生選手が走った第5レーンは、その後の大会に出場する選手の間で人気のスポットになっています。

来年はぜひ会場で応援して、感動を共有しましょう。

整備が完了したテクノポート福井総合公園

②アクセスをスムーズに

県内外の選手や観客に、安全で快適に会場まで来ていただけるよう、アクセス道を整備しています。

これまでに、大野市で行われる自転車や、勝山市、永平寺町で行われるバドミントン、バスケットボールなどの会場へのアクセス道を整備。11月には、体操競技と軟式野球の会場を結ぶ県道福井鯖江線（越前市家久町（いえひさちょう）～鯖江市舟津町）が完成しました。このほか、両大会開催までに、池田町や坂井市などの4路線を整備します。

③みんなでサポートしよう

開・閉会式や障スポ競技の会場で、来場者の案内や会場美化などを行う運営ボランティアを募集中です（問大会推進課まで）。10月からは、現在登録している方を対象とした研修会を開始。障がいのある方への接し方や福井の魅力のPR方法、AED（自動体外式除細動（じょさいどう）器）の使い方などを学んでいます。

手話、要約筆記、筆談からなる情報支援ボランティアには、600人以上が登録。5月から始めた研修では、聴覚に障がいがある方へのおもてなしや観光案内の仕方などを学んでいます。

2月にも
運営ボランティア
研修会を開催！

国体と障スポの「融合」

福井国体・障スポでは、障がいの有無にかかわらず、すべての人がスポーツの素晴らしさを共有できるよう、国体と障スポの融合を進めます。車椅子バスケットボールと車いすテニスの競技を、全国で初めて国体会期中に実施するほか、国体開会の約1か月前から障スポ閉会までを「**県民スポーツ交流期間**」と位置づけ、スポーツを通して交流できるイベントを行います。

また現在、融合を分かりやすく伝えるためのプロモーションビデオを制作中です。障がい者スポーツをPRするとともに、障がい者と健常者の交流を促します。

完成した映像は、開催300日前イベント「**はぴりゅうフェスタ**」で上映するほか、動画配信サイト「ユー・チューブ」上でも公開します。

はぴりゅうフェスタ2017 in サンドーム福井

12月9日（土）・10日（日） 10時～17時

所 サンドーム福井（越前市瓜生町）

詳
- 40競技以上のスポーツを無料で体験
- 「チームふくい」トップアスリートらによるトークショー
- ダンスや吹奏楽などのステージ発表
- グルメ&スイーツの祭典「まん福まつり」　など

問 競技力向上対策課
☎0776-20-0540
FAX0776-20-0672

問 大会推進課
☎0776-20-0726
FAX0776-20-0664

問 障害者スポーツ大会課
☎0776-20-2152
FAX0776-20-2153

知事コラム

知事　西川 一誠

愛媛国体では、県民の皆さんの「成功させたい」という強い熱意が感じられ、また、各会場では明るく気配りがある温かいおもてなしを受け、大変勉強になりました。愛媛国体をお手本にして、来年の福井国体・障スポをぜひ成功させたいと思います。

1月には平成30年冬季国体が開幕します。スケート（山梨県）、アイスホッケー（神奈川県）、スキー（新潟県）に出場するチームふくいを応援しましょう。